

## レポート評価基準 2017

### 目的

授業科目の範囲内で特定のテーマを設定し、この分野についての理解を深める。また成果物の作成を通じて、論理的な文書構成や自身の学習成果を効果的に伝える方略を学ぶ。

### 形式

- ・ A4 サイズのレポート用紙または白紙を使用
- ・ 表紙にタイトル、要旨（200 字程度）、学科・学籍番号・氏名を記載
- ・ 規定枚数以上

### 構成

- ・ 序論（何を記述しようとするのか、それはなぜか）
- ・ 本論（調査内容とそれから導かれる議論、適宜小見出しなどをつける）
- ・ 結論（調査内容および議論から導かれる結論）
- ・ 引用文献

項目		基準
形式 20 点	A4、タイトル、学籍番号・氏名等	A4 サイズを使用しているか、各項目の記載があるか
	要旨	要旨があるか、200 字程度あるか
	分量	規定枚数に相当する量があるか
	引用	引用はあるか、適切に引用されているか
内容 80 点	タイトル	タイトルは適切か、科目内容に対応するテーマ設定になっているか
	要旨	要旨が内容を反映しているか
	序論	何を論じるのかが示されているか
	本論	テーマに沿った内容になっているか
		論理的か、独創的か、単なるコピーペーストの寄せ集めになっていないか
		読みやすさへの配慮はあるか
結論	結論は本論の内容を反映しているか	
総合評価	本科目の単位履修に相当するか（含む提出期限）	

※ レポートは単なる学習ノートやメモ、箇条書きによる羅列ではなく、本科目の範囲内で特定のテーマを設定して、論述する。

※ 科目内容に対応するテーマ設定になっているかどうか、テーマに対応する内容となって

いるかどうか、叙述が論理的に進められているかどうか、独創性のある内容となっているかどうか、単なるコピーペーストの寄せ集めになっていないかどうか、読み手の立場に立ち記述が見やすさにも配慮されているかどうか、等をよく注意すること。

#### 項目ごとの配点基準

- ・十分に達成されている（100%）、
- ・十分ではないが必要な事項は一通り触れている（80%）
- ・最低限の形式と内容が保たれている（60%）
- ・形式と内容が必要な水準に達していない（40%）
- ・不備が多い（20%）
- ・全く達成されていないかまたは当該の形式と内容がない（0%）